学校番号	1101

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語乙	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新編「論理国語」　（大修館書店）						
副教材等	新編論理国語学習ノート（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・昨年度の「論理国語甲」の授業をより深めた内容を学習します。
・文章読解や長文記述などを取り入れた授業を行います。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，論理国語を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	自己を見つめる ［教材］ 『補助線を引きながら考える』 鷲田清一	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など，文章の構成や展開の仕方について理解する。 b[読]：文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握する。 c：文章を正確に読み取り、主張を理解する。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
	思考を深める ［教材］ 『和の思想、間の文化』 長谷川櫂	a：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 b[読]：文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などを的確に捉え，論点を明確にしながら要旨を把握する。 c：日本と西洋の文化的なちがいについて思考を深める。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
	社会に向かって ［教材］ 『自己推薦書を書こう』	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割，表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。 b[書]：目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。 c：読み手を意識した文章を書こうとする。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
後期	視点を変えて ［教材］ 『人類の進化から考える「心」の誕生日』長谷川眞理子 『ロボットに心はあるか』 石黒浩	a：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。 b[読]：目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。 c：異なる立場の文章を比較分析しながら読む。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
	複数の文章を比較し、分析しよう ［教材］ 『クオリアと心』西垣通	a：実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。 b[読]：目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート

		c:異なる立場の文章を比較分析しながら読む。			
	小論文を書く ［教材］ 『政治の本質』橋爪大三郎 『話し合って考えを深めよう』 ［教材］ ［教材］	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 b[書]:文章の構成や展開，表現の仕方などについて，自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりする。 c:読み手を意識した、わかりやすい文章を書き、推敲を重ねる。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間